

平成26年3月31日

関係各位

船橋希望学舎

世田谷区立船橋希望中学校

校長 徳永啓介

## 平成25年度改善方策に対する改善結果

### 1. 学校全体にかかる広報活動の充実

#### 【改善方策】

- (1) 学校全体に関わる広報活動を充実させるため、定期的に学校便りを発行する。
- (2) ホームページの認知度を高めるため、「校外学習での進行状況」や「生徒の部活動や地域での活躍」をホームページで積極的に発信していく。
- (3) 保護者会、PTA運営委員会、学校協議会等でホームページのPRを行う。

#### 【改善結果】

保護者アンケートでは、(1)「学校からの通信に、保護者の知りたい情報が盛り込まれている」の肯定的評価は86%（昨年度85%）、(2)「本校は、保護者に対し、ていねいに説明や対応をしている」は80%（昨年度76%）、(3)「学校公開や保護者会をとおして、学校の様子がよくわかる」は77%（昨年度75%）、(4)「本校のホームページは充実している」の肯定的評価は55%（昨年度47%）で、前年度より改善されていることが確認できた。しかし、ホームページの認知度については、「分からぬ」が31%（昨年度34%）であった。

「学年だより」を毎週発行していることにより、学校での子どもたちの様子など様々な情報が多く発信されていることが、高く評価されており、今後も、より丁寧な説明を心掛けていきたい。また、ホームページには、「校外学習での進行状況」をリアルタイムに発信し、好評を得ている。今後は、保護者・地域に対する学校の情報発信ツールとして、ホームページの一層の充実を図っていく。

### 2. 進路指導における情報提供の改善

#### 【改善方策】

「キャリア教育」の授業は、道徳、特別活動などでも実施されていることを、保護者には、保護者会、進路説明会を通して、生徒には、授業の中で、「キャリア教育」の年間指導計画の説明を適宜行っていく。

#### 【改善結果】

生徒アンケートでは、(1)「将来の生き方や進路について考えさせる授業がある」の肯定的評価が70%（昨年度63%）、否定的評価が20%（昨年度29%）、(2)「将来の生き

方や進路について先生と相談する機会が十分ある」の肯定的評価が53%（昨年度43%）、(3)「進路に関する情報が十分提供されている」の肯定的評価が60%（昨年度53%）、否定的評価が26%（昨年度36%）という結果で、改善されてきていることが確認できた。

しかし、保護者アンケートでは、(1)「本校は、子どもに将来の生き方や進路について考えさせる指導が充実している」の肯定的評価が54%（昨年度51%）、否定的評価が23%（昨年度30%）、(2)「本校は、進路について十分な情報提供がされている」の肯定的評価が47%（昨年度53%）、否定的評価が29%（昨年度24%）、(3)「本校は、進路について保護者が相談する機会が提供されている」の肯定的評価が59%（昨年度57%）、否定的評価が21%（昨年度20%）(4)「本校の教員は、親身になって進路の相談にのっている」の肯定的評価が45%（昨年度49%）、否定的評価が22%（昨年度17%）という結果であり、改善されている項目もあれば、改善が認められない項目もあった。

なお一層の改善方策の実施が必要である。

### 3. 教職員の評価との乖離がある項目についての自己点検

#### 【改善方策】

世田谷区における「学校評価システム」を教職員に理解させ、乖離ある項目を抽出し、学校独自の生徒アンケートを実施し、自己点検をより充実させる。

#### 【改善結果】

「学校での学習についての生徒アンケート」（生徒へのアンケート）、「各行事でのアンケート」・「平成25年度学校評価」（職員の記述式アンケート）、「学校関係者評価：生徒アンケート・保護者アンケート・地域用アンケート・全方位的な点検・評価（職員）」の結果を教職員に周知し、各分掌等で組織的に分析し改善策を検討した。資料の量はかなり多く、丁寧に読み込む必要があったが、分掌・学年・特別委員会で原案を作成し、職員会議で周知した。特に乖離があると思われる項目は、「保護者・地域との連携」、「キャリア教育・進路指導」、「体育・健康教育」であった。